

makeVR

makeVR 実施要項

- ・レスポンシブ Web デザイン
(768px をブレイクポイントとし、それ以上が PC、それ以下がスマホ)
- ・PC では各ブラウザ最新版で、SP では iOS Safari と Android Chrome の最新版で問題なく閲覧可能。

おおまかな流れ

HTML を一通り組む

↓

CSS を組み込んでレイアウト・装飾

- reset. 系の CSS を用意して組み込む
- CSS を新規作成して、PC → SP の順番にコーディング実施。

※今回は別パターンを経験するという意味で、PC → SP の順番にコーディングしていくだけますが、考え方は同じです。

HTML



微妙に上下中央配置ではない。
日付あたりのところは画像として表示。

タイトルやテキストがひたすら繰り返される。

スマホと PC で画像切り替え。
(トップページのメインビジュアルも同様)

ACCESS



Google Maps の縦横比率は
PC とスマホで切り替え。



参加費
無料

参加条件
クリエイティブを仕事にしている方 または企業のご担当者様(御名刺を複数枚ご用意ください)

お名前

職業 会社員 会社経営 会社員

メール アドレス

ENTRY

フォームの見た目はカスタマイズ必要。





スマホの時はメインビジュアルも日付表示の
画像も差し替え。



MAKE::VRは、日々変化していくクリエイティブシーンの情報をインプットし、あらたな化学変化を起こすことを目的に、毎月業界の一線で活躍しているゲストをお招きして、お話を伺う勉強会です。元々社内向けに行っておりましたが、同じクリエイティブシーンで活動するクリエイターのみなさまにも開放することで、お互いに出会い、意見を共有し、高めあっていける“場”にして行きたいと思っています。

タイトルと文章の繰り返し



VR/AR STUDIO CEO/Creator 今野 現 氏

カーネギーメロン大学にて医学(眼科)とコンピューターサイエンスの博士を取得し、米国のアートスタジオなどで活躍した後、2013年VR/AR STUDIOを設立。
現在国内外のコンサート・広告・アートフェスティバル等で上映するVR・ARの作品を数々手がける。
日本VR学会理事、米 Artist of Compterscience 会員

SCHEDULE

2022年4月1日(水曜日) 19時～22時

- 1部(19時～20時) 今野氏講演
2部(20時15分～22時)懇親会(軽食とアルコール
・ソフトドリンクをご用意しております)

→ 画像は PC 時と差し替え。



150-0002 東京都渋谷区渋谷 1 丁目23-21

渋谷キャスト2F

RCU DESIGN



→ Google Maps の縦横比率は
PC 時と相違。

ENTRY

参加費
無料

参加条件
クリエイティブを仕事にしている方 または企

お名前

職業
会社員 会社経営 会社員

メールアドレス

ENTRY

フォームのカスタマイズ必要。
→微妙にPC時とレイアウトが違うのが注意。



CSS

PC 時とスマホ時の画像切り替え

1、PC 時に表示したい画像とスマホ時に表示したい画像を並べて CSS で表示・非表示を切り替えする。

HTML

```
  

```

CSS

```
.sp{  
    display:none;  
}  
@media screen and (max-  
width:768px){  
    .pc{  
        display:none;  
    }  
}
```

PC 時とスマホ時の画像切り替え

2、background-image の url を切り替える。

(表示領域のタグの高さ適用が前提。大体 background-size:cover とセット)

HTML

```
<div class="main_visual">
```

CSS

```
.main_visual{  
    background-image:url(pc.  
png);  
}  
  
@media screen and (max-  
width:768px){  
    .main_visual{  
        background-image:url(sp.  
png);  
    }  
}
```

PC 時とスマホ時の画像切り替え

3、JavaScript を使って img タグの src を切り替え
(この動画では JavaScript のことなので割愛します)

vw、vhについて

■ vw

viewport の幅に基づいた単位指定の方法。1vw は viewport の幅の 1% に相当します。

■ vh

viewport の高さに基づいた単位指定の方法。1vh は viewport の高さの 1% に相当します。

レスポンシブ Web デザインにも慣れてきたら、vw や vh の単位を使った指定にもどんどん挑戦して、より正確でバリエーション豊かなコーディング方法を目指していきましょう！

class の利用法について

GUEST

CONCEPT

色が違うだけでそれ以外は同じ!!!!

class の利用法について

GUEST

CONCEPT

```
.guest-title{  
    background-color:#07857b;  
    font-size:2.4rem;  
    color:#fff;  
}
```

```
.concept-title{  
    background-color:#454848;  
    font-size:2.4rem;  
    color:#fff;  
}
```

- ・重複した記述あり
- ・色のバリエーションが増えるほど重複記述が増えて無駄に CSS が増える。

class の利用法について

GUEST

CONCEPT

```
.content-title{  
    font-size:2.4rem;  
    color:#fff;  
    background-color:#454548;  
}
```

```
.content-title__green{  
    background-color:#07857b;  
}
```

- ・ベースの記述を定義。
- ・色のバリエーションだけ別 class を定義、HTML には 2 つ class を記述。
→ **<h2 class="content-title content-title__green">**

Google Maps のレスポンシブ対応



```
<div class="maps-outer">  
  <iframe src="***" class="maps"></iframe>  
</div>
```

↓

必ず iframe の外側を div で囲む！！！

例) 縦 800、横 600 の場合

→縦横比率 4 : 3

Google Maps (Youtube) のレスポンシブ対応

CSS

```
.maps-outer{  
    position:relative;  
    padding-top:75%; // 縦横比率がここに反映・・・4 : 3 => 75%  
    //padding-bottom でも OK  
}  
  
.maps{  
    position:absolute;  
    top:0;  
    left:0;  
    width:100%;  
    height:100%;  
}
```

input や textarea のカスタマイズ

CSS

```
input{  
  -webkit-appearance: none;  
  -moz-appearance: none;  
  appearance: none;  
}
```

ブラウザによって違う form の input や textarea の見た目を一旦リセット。
この記述をした上で、form タグ関係に自由に CSS を適用していく。

スマホ実機で見ると、input タグの角丸がデフォルトで角丸（iPhone）など、
PC ブラウザだけでは確認できないことがあるので、注意が必要。